



**INGING MOTORSPORT.**



INGING MOTORSPORT OFFICIAL WEBSITE OF PAPER [http://www.inging.co.jp]

# INGING NEWS PAPER 2009 VOL.06

**FREE**  
無料

Special Topics

## PLAY BACK to race

### Round.3 TWIN RING MOTEGI

前回のツインリンクもてぎでの闘いを振り返って...

Race Report

The previous race : 2009 第5戦 鈴鹿サーキット

# Round.5 SUZUKA CIRCUIT

Round.6 TWIN RING MOTEGI 8/8 - 8/9

Support by cyber net

INGING NEWS PAPER VOL.6 [インギング ニュースペーパー]

2009年8月発行 通巻6号

発行：株式会社インギング 〒220-8585 東京都大田区東田5-25-7 CNHL

# Race Report

2009年、第5戦!!

第5戦 2009年7月11日・12日 鈴鹿サーキット

## Round.5 SUZUKA CIRCUIT 7/11 - 7/12

予選レース結果 <フリー走行> 天候:曇れ|コース状況:ドライ

後半戦の序盤を過ごし、シムズにも手を懸けGEMUM/INGINGは鈴鹿サーキットに乗り込んだ。今季からニューマシンFNR9が導入されたフォーミュラ・ニッポンは残り4戦、シーズン中折り返し地点を過ぎた。第2戦の鈴鹿大会ではノックアウト式予選Q3に挑んでいるこのサーキットで、これまでの不調の流れを断ち切りたいところである。9:25、サーキットは雨に降られていたものの、気温は28℃、路面温度は37℃に上昇している。60分間で行われるフリー走行セッション開始ともコースインした立川は、ピットインを繰り返しながら予選に備えるセッションメニューをこなしていき、コースドライで走行を重ねた立川は1分44秒で、セッション残り10分で先陣を争った。フレッシュタイヤを装着する。残り7分。予選に向けてのタイムアタックへ、各セクタータイムをベストタイムでまとめたものの記録したタイムは1'44.134で12番手となった。マシンから降りた立川はリヤウィールの不安定感を訴えた。



2009 SERIES

<ノックアウト式公式予選> 天候:曇れ|コース状況:ドライ

午後の公式予選を迎え、雨は降ってきたのだが、気温は31℃、路面温度は40℃を越えている。20分間で行われるQ1セッション。真先にピットを飛び出したのは立川。セッション開始前からフレッシュタイヤを装着してコースイン。予選に向けてマシンセッティングは変更され、いばかりのクワックラップを開始する。まずはクワックラップを確実に踏んでタイムを切り替えていく。コースドライのセクタータイムのマシンを引き継いで、ホームストレートに乗って来た立川は出したタイムは1'44.325。最終ならこのタイムでQ2に意図することはできないだろう。ピットに降りて来たマシンにクワックラップが残り、さらにフレッシュタイヤを投入された。チームは従来の作業を要し、Q2セッションに向けて2日目のクワックラップを積み重ねた。リヤウィールに調整を加え、コースインのタイムを計る。セッション残り7分を切るとフレッシュタイヤに慣れたマシンが軽々とコースイン。タイムアタックを開始していく。そして残り4分。いよいよ立川がコースイン。このタイムでたたき出した1周のタイムアタックは得意でない。セクター1、2、3、と自己ベストタイムを更新してのタイムは1'43.455を記録。この時点で7番手であるが、まだ連続走行で2周に渡るアタックしているマシーン。スタッフはQ2進出を望むピットモニターを見守る。しかし、僅か0.2秒および予選Q1にノックアウトされることになった。ホームポジションは1'41.214で#31 L.チュウ(NAKAJIMA)が獲得。



決勝レース結果 <フリー走行> 天候:曇れ|コース状況:ドライ

後半戦、この鈴鹿大会では新天の決勝レースを迎えられそうだが、午前中の気温は27度、湿度が非常に高くなる。暑い日差しの中で30分間のフリー走行が実施され、いつものように同じ日に、ピットイン作業のメニューをこなした。立川はコースを周回し始め、セッション序盤、気温が上がった影響で気温は上がる(シムズを過ぎて左高直コーナーで#32小倉(NAKAJIMA)がスピン。車高がコース内に残りセッション中断かと思われたが、オフィシャルの車高計でコースはクリア。そして、このタイミングでピットに降りた立川は、フロント側のエアジェットの調整を要し、再びのコースインとなる。セッション残り5分前でピットインを繰り返しながら調整を加え、マシンセッティングの最終確認を行った。記録したタイムは1'46.092。ポジションは10番手でセッションは終了となった。

<決勝レース/55周>

天候:曇れ|コース状況:ドライ



ドライコンディションでのレースだ。グリッド上のスタッフはいつにもまして高気圧が降られる。このウエークの遅りは解消できず、立川は送り出された。気温は28℃。気温こそ暑い中、午後5時44分。決勝レースはスタートした。シグナルクラッシュアウトのタイミングが悪い。直ぐに加速が鈍った立川であったが、2コーナーから5手にかけて後方の7周半(LaMass)を捉え込み、12番手を奪う。しかし、このスタート時に、なんとフライイングスタートのペナルティを受ける選手が5人もおり、彼らのレースの遅れに繋がった。立川の順位には40 R.ライオン(DANDELION)が、最下となる12番手からスタートし、順位を上げていた。立川は7周目にチームメイトでライオンを抜いて46位、8周目にチームメイトでライオンを抜いて34位。そして抜いた立川はダングランとペースを上げる。ここで立川の順位は8番手だ。レース中盤となる22周目に、立ち遅れレーシングのピットワークを突き落とすと、立川は11番手から順位を上げていく。ピットインが始まるころからかきんばりながら、25周目にはベストタイムを記録してコースを攻め始める。レース終盤、ペナルティを受け後方から追いつかれてきた#36 A.ロッチェラー(TOM'S)に抜かれる。立川は順位を上げて右側のピットワークにアタックが早い。0.5秒差を奪った選手は手を入れた。そしてファイナルラップ。最後の130Rで7周目と#1船田(IMPLA)が最終コーナーのインレットで脱出。立川の順位は順位が6位となりチェッカーフラッグを受けた。順位は#31 L.チュウ(NAKAJIMA)が2位にも#32小倉が3位。この結果でもNAKAJIMA RACINGの勢いもあるものはないな。

Round.5 SUZUKA CIRCUIT 7/11 - 7/12

INGING MOTORSPORT OFFICIAL WEBSITE OF PAPER (http://www.inging.co.jp)



### RACE RESULTS

[48] 立川 祐樹	6位
	43
Time	1:18'20.006
Delay	54.416
Best	1:47.014

### Round.5 Race Comment

**48 立川 祐樹 CERUMOTORING**  
「前半セッションの雨は降らなくて、予選まで一貫して乾燥した状態だったから、タイヤのグリップが上がってスタックラップして、うまく走り出すこともあった。」

**監督: 竹内 浩典 CERUMOTORING**  
「後半セッションはいきなり雨が降った。マシンセットもかなり大変な状況だった。でも、選手は諦めずに走り続けた。立川は最後まで諦めずに走り、順位を上げていくことができて、チームのモチベーションも高まっていると思う。」

## TWIN RING MOTEGI

前日、ツインリングもてぎでの決勝レースを振り返って...

### Play back to Round.3

コースに復帰した立川は、再び7番手からの追い上げを開始する。14周目、3コーナーからオーバーテイクシステムを起動させ、5コーナーで#2 B.トトリイ(IMPUL)を奪って順位を上げた。立川は再びピットに入ると、立ち遅れレーシングのピットワークを突き落とすと、立川は順位を上げていく。ピットインが始まるころからかきんばりながら、25周目にはベストタイムを記録してコースを攻め始める。レース終盤、ペナルティを受け後方から追いつかれてきた#36 A.ロッチェラー(TOM'S)に抜かれる。立川は順位を上げて右側のピットワークにアタックが早い。0.5秒差を奪った選手は手を入れた。そしてファイナルラップ。最後の130Rで7周目と#1船田(IMPLA)が最終コーナーのインレットで脱出。立川の順位は順位が6位となりチェッカーフラッグを受けた。順位は#31 L.チュウ(NAKAJIMA)が2位にも#32小倉が3位。この結果でもNAKAJIMA RACINGの勢いもあるものはないな。

